



No.32

平成27年9月10日発行

編集・発行

北斗会 (旧富山商船同窓会)

射水市海老江練合1-2

TEL (0766) 86-5100 FAX (0766) 86-5110

振替口座 00720-1-2631 (ホクトカイ)

同窓会HP <http://www.toyama-shosen.com/>



CONTENTS

2 「富山高専同窓会」 発足する!!
同窓会長挨拶

4 定期総会
平成26年度 決算報告/平成27年度 予算案

6 学内人事/入試・就職情報/新入会員名簿

7 学内トピックス
同窓会HP情報
射水キャンパス新臨海実習場の紹介
若潮丸新船長あいさつ
ジュニア・ SHIPPINGジャーナリスト賞受賞

12 支部会だより
東北支部/新潟支部/関西支部
石川富船会/富山支部

15 同期会
N55・E22 同期会/あかつきの会 (N56・E23)
第80回商船グリーン会/国際流通学科同窓会

16 かたふりコーナー
お知らせ
不審な名簿業者からの連絡にご注意ください
平成27年度 総会・懇親会のお知らせ
編集後記

写真上 新臨海実習場と若潮丸

中 ポンドの様子

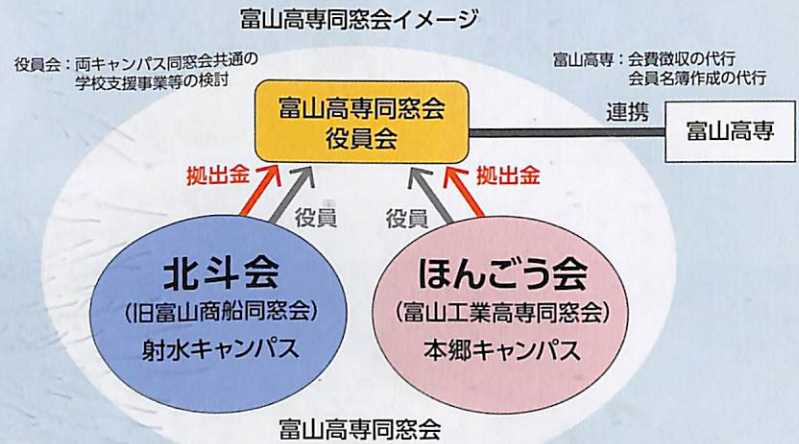
下 新臨海実習場で開催されたはじめての
校内カッターレース大会

「富山高専同窓会」発足する!!

ですが…北斗会は存続いたします。

昨年度の総会からの懸案事項であった、富山高専合同の同窓会は、「ほんごう会」（本郷キャンパス同窓会）と「北斗会」（射水キャンパス同窓会）を統合した「富山高専同窓会」となり発足いたしました。

「北斗会」及び「ほんごう会」とも、これまで通りの活動を継続し、富山高専同窓会は、学校行事に関する両同窓会の共通部分を援助する目的で、活動していきます。



富山高等専門学校同窓会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、富山高等専門学校同窓会と称する。

(所在地)

第2条 本会の所在地は、富山市本郷町13番地とする。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦、母校の発展を図り、学術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関すること。
- (2) 母校及び会員相互の連絡に関すること。
- (3) その他本会の目的を達成するため適当と認められる事業。

(構成員)

第5条 本会は、次の会員を以て構成する。

- (1) 富山高等専門学校を卒業又修了した者
- (2) 富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会（以下、「ほんごう会」と称する。）の正会員
- (3) 北斗会（旧 富山商船同窓会）の正会員

第2章 会の機関

第1節 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- 会 長 … 「ほんごう会」と「北斗会」の会長を交替にて充てる。
 副会長 … 「ほんごう会」と「北斗会」の会長のうち、本会の会長に就任しない会長を副会長に充てる。
 理 事 … 「ほんごう会」と「北斗会」からそれぞれ各3名ずつを充てる。
 監 事 … 「ほんごう会」と「北斗会」からそれぞれ各1名ずつを充てる。

(役員の職務)

- 第7条 会長は、本会を代表し、本会の事務を総理する。
- 2 副会長は、会長の定めるところにより、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理し、会長が欠員のときは、その職務を行う。
 - 3 理事は、会長の定めるところにより、会長、副会長を補佐し、会長、副会長に事故あるときは、その職務を代理し、会長、副会長が欠員のときは、その職務を行う。
 - 4 監事は、本会の資産及び会計の状況を監査する。
 - 5 監事は、他の役員と兼ねることができない。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、当該年度の総会から次年度の総会までの間とする。

第2節 理事会

(理事会の組織及び招集)

- 第9条 理事会は、会長、副会長・理事及び監事で組織する。
- 2 理事会は、会長が招集する。
 - 3 理事会を招集するには、会日より2週間前に、副会長及び理事に

対しその通知を発ししなければならない。ただし、緊急を要するときは、その期間を短縮することができる。

- 4 前項の通知には、会議の日時、場所及び会議の目的である事項を記載しなければならない。
- 5 理事会は、副会長及び理事全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで開くことができる。

(理事会の決議)

第10条 本会の業務執行は、理事会の決するところによる。

- 2 理事会の議長は、会長とする。
 - 3 理事会の決議は、理事会の組織員の過半数（委任状を含む）が出席し、その議決権の3分の2以上の賛成をもって決する。
 - 4 理事会の決議について特別の利害の関係を有する者は、議決権を行使することができない。
- この場合の議決権の数は、前項の議決権の数に算入しない。

(書面による決議)

第11条 会長は、理事会組織員の全員の同意があるときは、書面により議決を求めることができる。

- 2 前項の場合において、決議の目的である事項について、理事会の組織員の3分の2以上が書面をもって同意を表したときは、理事会の決議があつたものとみなす。
- 3 会長は、遅滞なく、決議の結果を副会長、理事及び監事に通知しなければならない。
- 4 理事会に関する規定は、書面による決議に準用する。

(理事会の議決事項)

第12条 次に掲げる事項は、理事会の議決を経なければならない。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 予算・決算に関する事項
- (3) 会則の改廃に関する事項
- (4) 会長から付託された事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか業務の執行に関する事項

第3節 総会

(総会)

第13条 本会の総会は、毎年1回開催し、本会の会長が事業報告、事業計画、決算・予算を報告する。

第3章 会計

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(財源)

第15条 本会の財源は、次に掲げるものをもって充てる。

- (1) 「ほんごう会」「北斗会」からの拠出金
- (2) 寄付金
- (3) その他の収入

(拠出金)

第16条 「ほんごう会」「北斗会」からの拠出金は、理事会において翌年度分を3月末日迄に決定する。

附 則

(施行期日)

- 1 この会則は、平成27年3月18日から施行する。

同窓会長挨拶

「三方よし」

E24 池田 茂



北斗会の皆さん、こんにちは。昨年11月の総会でご指名を頂きました機関科24期の池田と申します。

私は「学校よし、学生よし、同窓よし」の「三方よしの精神」で行きたいと思っております。学校へは惜しみない支援を行い、永遠に輝く北斗星のごとく、富山で光り輝く学校であって欲しいと思っております。学生に付きまちは、私達の後輩として立派に社会で活躍できるよう手を差し伸べてやり、私たち同窓は両手を広げしっかり受け止めてやろうではありませんか。最後になりましたが、同窓よし！それは同窓の絆です。職業も、年齢も、地域も、この広範囲なネットワークこそが財産です。どうか求める人は

求めてください。与える人は与えてください。人は生まれる時は何も持っていません。死ぬ時も何も持っていきません。誤解を恐れず言わせて頂きます。「人生求めるより、与えることに値打ちあり」金銭のことを言っているのではないことは賢明な同窓諸氏には分かって頂いたと思います。

11月の総会でお会いいたしましょう。楽しみにしております。

北斗会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、北斗会と称する。

(本部および支部)

第2条 本会は、本部を富山高等専門学校射水キャンパスにおく。本部の他、富山、関東、関西、新潟、東北、北海道に支部をおき、その他必要と認められる地区に、理事会の決議を経て、支部をおくことができる。

(目 的)

第3条 本会は、会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会の目的を達成するために、次の事業を行なう。
1、会報の発刊
2、母校の教育振興に対する協力。
3、その他、母校の維持発展に関し必要と認められる事項。
4、ホームページの維持・管理、更新を行なう。

第2章 会 員

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

- 1、正会員 ①富山商船高等学校を卒業したもの。
②富山商船高等学校の席上課を卒業したもの。
③富山商船高等専門学校を卒業したもの。
④富山商船高等専門学校の3学年を修了したもの。
⑤富山高等専門学校射水キャンパスを卒業したもの。
⑥富山高等専門学校射水キャンパスの3学年を修了したもの。
⑦富山高等専門学校射水キャンパスの専攻科生。
- 2、準会員 富山高等専門学校射水キャンパスに在学中のもの。
- 3、特別会員 母校在職の現職員、及び本会の主旨に賛同するもので、総会の承認をうけたもの。

(除 名)

第6条 本会の会員であって、会の名誉を著しく損する行為があったときは、理事会の決議を経て、会長はこれを除名する事が出来る。

(資格の損失)

第7条 会員で、次の各号に該当するものは、その資格を喪失する。
1、死亡したもの。
2、除名されたもの。
3、脱会を希望したもの。

第3章 役 員

(役 員)

第8条 本会に、次の役員をおく。
1、会 長 1名
2、副会長 6名
3、理 事 100名以内
4、会 計 1名
4、監 事 2名
5、参 与 若干名
会長は、理事の互選とする。
副会長は、各支部において1名ずつ選出の上、総会の承認を受けるものとする。
理事は、正会員の中から各支部において若干名ずつ選出の上、総会の承認を受けるものとする。
会計は本部事務局において1名、会長がこれを委嘱する。

監事は、正会員の中から会長がこれを委嘱する。
参与は、会長並びに支部長経験者に、会長が委嘱する。

(役員の仕事)

第9条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
副会長は、会長を補佐し、会長不在または事故あるときは、これを代行する。
理事は、理事会を構成し、第15条に関する事項を審議、処理する。
会計は、本会の会計事務処理及び財産管理を行なう。
監事は、本会の経理を監査する。
参与は、会長の委嘱により会務を処理する。

(相談および顧問)

第10条 本会に、理事会の議を経て、相談役と顧問をおくことができる。

(役員の仕事)

第11条 本会の役員の仕事は、2年とし、再任を妨げない。役員に欠員が生じた場合は、第8条の規定により、その都度選出する。ただし、止むえない事情があるときは、会長がこれを指名補充することができる。補充者の任期は、前任者の残存期間とする。

第4章 会 議

(総 会)

第12条 定期総会は、年1回、会長が招集する。定期総会において毎年度の収支決算、財産目録、会員の状態、その他の会務を報告しなければならない。
総会の議決は、出席者の過半数でこれを決める。ただし、可否同数のときは議長がこれを決める。その他、理事会において必要と認められた場合は、臨時総会を招集することができる。

(記 録)

第13条 総会においては、議事録を作成し、出席者の氏名及び員数を記録する。

(理 事 会)

第14条 理事会は、会長が必要と認められた場合これを召集する。

第15条 理事会は、次の事項を審議処理する。

- 1、経費の予算並びに決算にかんすること。
- 2、本会の維持運営に関すること。
- 3、事業の企画実施に関すること。
- 4、財産の保全に関すること。
- 5、総会において委任を受けた事項。
- 6、その他、必要と認められる事項。

(議 長)

第16条 会長は、総会及び理事会の議長となる。

第5章 会 計

第17条 本会の経費は、入会金、寄付金その他をもって当てる。

- 1、正会員の入会金は、終身会員費として20,000円とする。

(会員費の徴収)

第18条 会費は、本部において徴収する。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度は、毎年11月1日に始まり、翌年10月31日に終わるものとする。

附 則

- 1、本会則の改正は、総会の決議を要する。
- 2、本会則は、昭和58年11月1日より実施する。
- 3、本会則は、平成元年11月1日より実施する。
- 4、本会則は、平成5年11月1日より実施する。
- 5、本会則は、平成6年11月1日より実施する。
- 6、本会則は、平成15年11月1日より実施する。
- 7、本会則は、平成21年11月1日より実施する。
- 8、本会則は、平成23年11月1日より実施する。

定期総会

平成26年11月8日(土)、北斗会理事会が富山電気ビルレストランで開催されました。会務報告、決算報告、監査報告がなされ承認をいただきました。決議事項、報告事項は以下の通りです。

日時 平成26年11月8日(土) 16:00～

場所 富山電気ビルレストラン

議案

1. 平成26年度会務報告

2. 平成26年度決算報告

3. 平成26年度監査報告

事務局報告通り承認された。

- ・会費収入は昨年度振込みが遅れたNE21期の会費が含まれている。
- ・繰越金は、会費は終身会費として集めており、終身にわたって同窓会からの会報などを送付する費用と考えている。

4. 平成27年度活動予定

事務局報告通り承認された。【次回開催予定日：平成27年11月7日(土)】

5. 平成27年度理事会・総会議事録

参考資料として、昨年度理事会・総会議事録が提出された。

6. 本部・支部提出議案

6-1. 役員人事

会長 E25山口光三 → E24池田茂

支部長

富山支部 E24池田茂 → N63 永守徹

関東支部 支部長 E25 及川武司 → N59 土屋正徳

関西支部 支部長 N57 福地赳雄 → N59 高橋建治

新潟支部 支部長 N61 古川 隆 → N55 塚原政和

理事

退任

新任

富山支部 N53 松田信悟 E28 寺田幸英

N56 中塚一平 N57 玉谷次平

E13 牧野武仕 E28 河上秀雄

N58 赤江邦夫

NE12 池野一成 新任(学内理事)

関西支部 N51 葛西亮次 N73 金山 聡

E23 松本富士夫 NE13 鈴木静瑠

会計監事 N63 永守 徹 E31 若杉達也

6-2. 富山高専合同創立記念事業に関して

富山高専校長に対して、平成25年度北斗会総会決議に従い、「北斗会としては協力できないが、個人的な協力を妨げない。」と説明を行った。

6-3. 富山高専同窓会に関して

富山高専校長から、「北斗会、ほんごう会は今後も独立して活動して欲しい。富山高専での共通行事に対する支援を行うために、北斗会、ほんごう会から役員を出した富山高専同窓会役員会、富山高専同窓会を組織して欲しい。組織後は、富山高専卒業生は富山高専同窓会に入会し、同時に射水キャンパス卒業生は北斗会に入会する。」との構想の説明を受けた。「校長の構想に賛成する。詳細な条件は各支部長と検討する。」こととした。

6-4. 平成27年度以降の予算案に関して

各支部からの総会出席の人数や会報の内容は、事務局に一任する。

6-5. 総会会計

総会への助成は、事務局に一任する。

6-6. 富山支部

支部理事会・支部総会を行ったが、理事以外の出席は数名だった。

今後、理事会をもって総会とする。活性化策は、引き続き行っていく。

6-7. 北海道支部

越洋会に対して、活動費の要求があれば、補助を行っていく。

6-8. 帆船模型「鳳翔丸」

現時点において、引取先が決定していない。

今後も引き続き、引取先を交渉し、来年3月までに引取先を決定していく。

7. その他

7-1. 学科略称について

統合後の富山高専卒業生の、同窓会での学科略称について説明があった。

同総会での学科略称は事務局に一任する。

7-2. 北斗会HP

HPの更新内容、今後の活性化の説明があった。

学内トピックス

<http://www.toyama-shosen.com/>

富山商船同窓会のホームページが
北斗会(旧富山商船同窓会)になりました。



同窓会 HP を同窓生間の交流の1つとして
ご活用ください。

《 ホームページへのアクセス方法 》

URL を打ち込むか、検索エンジン (yahoo
や Google) で「富山商船同窓会」と検索
してトップに出てくる検索結果をクリックし
てください。

左のようなトップ画面が表示されます。

ログインしなくても総会の情報や同
窓会から発信している情報を見るこ
とができます。



ログインの為のユーザー登録の方法はコチラ。

卒業生専用の掲示板となりますので、本人認証は2段階認証で不正登録を防止していますので
ご協力をお願いします。
また、本人認証ができない場合は「事務局関連」の「各種お問い合わせ」フォームよりご連絡下さい。

①在学時の
・ 姓
・ 名
・ 卒業年
・ 卒業学科
の一致で1段階認証

②会報発送先の住所
・ 都道府県
・ 市区
・ 町村番地
・ 電話番号
の一致で2段階認証

③ログイン用の
・ メールアドレス
・ パスワード
の登録

④サイト利用時は登録した
・ メールアドレス
・ パスワード
でログイン

ユーザー登録すると掲示板への書き込み
や、会報のバックナンバーを閲覧するこ
とができます。

HPの更新内容等を記載したメールマガジン
も年四回発行しています！

■ 射水キャンパス新臨海実習場の紹介



新実習場と若潮丸



今までの臨海実習場（堀岡地区）

平成27年3月、本校の臨海実習場が射水市堀江地区に移転し新しくなりました。

液化天然ガス（LNG）を燃料に使う北陸電力の富山新港火力発電所のLNG1号機が建設されるにあたり、今までの臨海実習場（堀岡地区）付近に約300mのLNGタンカーが入港することになりました。これによりLNGを運ぶ大型船と若潮丸の運航海域が重なることになり若潮丸の出入港が困難になることから、移転となりました。



ポンド（船貯）



艇庫

新臨海実習場（堀江地区）は旧実習場（堀岡地区）から富山新港の南東二キロの港湾内に移り敷地面積はこれまでのおよそ2倍の7900平方メートルで手漕ぎボート「カッター」や「エンジン付き小型舟艇」を所有する艇庫（鉄骨二階建て床面積1280平方メートル）を備えています。また、従来の施設の他、新たに救命艇実習が行えるボートダビット及び救命ボートが新しく設けられました。ポンド（船貯）も広くなりカッターや小型舟艇もスムーズに出入りできます。



合宿所外観



合宿所廊下洗面所

20人程が宿泊できる平屋の合宿所も新しく造られ、完成直後の3月末から4月上旬にはヨット部が春合宿を行いました。新築で綺麗なため快適な合宿になりました。



男子艇



女子艇

7月21日、新実習場になってからの初めてのカッターレース大会が行われました。男子、女子、男女混合の3種目で学生約670人が39チームに分かれ、息の合ったチームワークでゴールを目指しました。国際ビジネス科3年、学生会長である伊藤大樹学生は「新しい実習場になり気合が入っている、伝統行事を続けて嬉しい」と話してくれました。県立商船学校時代、1915年から続く伝統行事を守りぬいている学生の力強さを感じました。

船舶の航海士や機関士を目指す学生が技能の習得をはかる施設としてより良くなり、若潮丸の乗船実習場や海洋実習、カッターレースの拠点として新しく生まれ変わった臨海実習場へみなさんもぜひ訪れてみて下さい。

NE12 池野 一成

■ 若潮丸新船長あいさつ

N64 中川 宏司

大変長らく、ご無沙汰しています。

昭和49年度卒業の航海科・中川宏司です。

今年の4月に若潮丸の船長として勤務することになりました。今までは当時の富山商船高専を卒業以来、電電公社、NTT関係で通信海底ケーブルの設計・建設・メンテナンス業務を約40年行ってきましたが、この度定年退職し、何かの縁で、わが母校でしばらく働くことになりました。

現在の家は横須賀にありますが、我が愛する妻がどうしても富山でしばらくで良いから住みたいという熱い思いもあり、二人だけの富山生活を開始いたしました。

私の船長としての業務は十年以上のブランクはありますが、教職員の皆様の手助けもあり、少しずつ職場にも慣れてきました。ただ未だに学生に教えるということの難しさに四苦八苦しています。

学生の皆さん、同じ職場の皆さんにはご迷惑をおかけすることとは思いますが、少しでも関係する皆さんの手助けとなれるようにこれからもステップアップしてまいります。

今回の皆様との出会いを大切に、またいい触れ合いをしつつ、またの巡り合いがあるよう、日々努めていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



■ ジュニア・ SHIPPINGジャーナリスト賞受賞

ジュニア・ SHIPPINGジャーナリスト賞を受けて

商船学科航海コース3年 中原 嶺太郎

今回このような作品を応募するきっかけとなったのは、本校の文化祭の学年展示を初めとしましたが、ジュニア・ SHIPPINGジャーナリスト賞に応募した結果、380作品中の7作品の優秀賞に輝き、高校生部門で国土交通大臣賞は受賞することはできませんでしたが、日本海事広報協会会長賞というもう一つの大賞を受賞することが出来ました。

今まで作品に没頭して頑張ってきた成果がでて、もちろん素直に嬉しかったですが、受賞できた最大の理由は、インタビューに答えて下さった先生方や全面的にサポートして下さった千葉教官がいてくださったからこそ、この大賞に手が届いたんです。また高校生は、コピペをするから、なかなかいい作品が出来ないと言われていたのですが、私たちは何度もたくさんの図書を読み参考にしたり、実際に体験談を先生方にインタビューしたり、話のまとまりを囲んで色分けしたり、読みやすい段組やわかりやすい真写などを載せたりするなど、たくさんの工夫を施したから、受賞できたんだと思います。しかし残念なことに、表彰式前に発表しましたが、審査員の方にカッターの魅力が伝わらなかったことが非常に悔しく心残りです。

質問の応答でも緊張して頭の中が真っ白になって、

適切な答えにまとまらなかったことも、かなり悔しいです。ですがここで失敗したことは、決して無駄ではないので、自分の大切な経験の一つとして積めたので、嬉しいです。この成功や失敗などの経験を今後の課題として励んで行きます。本当にこのような大賞を受賞でき、嬉しく感謝しています。また来年度もリベンジしたいです。今度こそは、国大土臣交賞通を受賞したいです。

私の中では、今回東京へ行ったのは、発表・表彰式もありましたが、今後の進路のための話を色々な方々から伺いたいと思っていました。全日本船舶職員協会の方々や東京海洋大学の方、旧富山商船高校同窓会関東支部の方々に色々な体験談やためになる話、そして私の相談にも真剣に乗って下さりました。カッター部OBの方々には、現カッター部のために企画を練り、実行させようとして下さっています。本当に難有う御座います。色々な方々のおかげで私の進路も決まりつつあります。またJFE物流株式会社さんの見学やお話を聞けたことで、実際の働く現場としての参考にもなりました。2日間という短い間でしたが、貴重な経験が出来き、お世話になりました。今後も励んでいきます。

本当に有難う御座いました。

商船学科航海コース3年 竹内 めぐみ

先日は 私たちの祝賀会をかねての同窓会にお招きくださり、ありがとうございました。

大先輩方の前で受賞報告できたとともに、たくさんのお話を聞くことができ、大変嬉しく思います。緊張しながらも、大先輩方と会話することで、昔の話や会社のことなど、いろんなことをお聴きすることができ、とても有意義な時間を過ごせたと思っています。

数々のお話の中で一番印象に残っているのは、歴代の漕艇部部長のお話です。

今、私たちの漕艇部は部員が14名(4名女子)しかおらず、マネージャーが8名と大会に出るのもやっとやっとな危機的状況です。そのうち、学年的に北陸漕艇大会に出られるのが6名しかいないので、新入部員が入ってくれないと北陸漕艇大会にも出られません。艇は練習も大会も1艇しか出せず、また

怪我人が多数いるため練習もままならない状態です。

そのようななかでの、漕艇部部長のお話は、興味を引かれるとともに憧れました。部員が50名もいた話や、漕艇部全員で佐渡へカッターを漕ぎながら行ったこと。今では夢物語に近い話だと思いました。

また、憧れや夢物語だと思いつつ同時に、今まで漕艇部を繋いできてくださった多くの先輩方に今の漕艇部をお見せすると思うと、なんだか情けなくなってきました。

まだ、私は部員を引っ張っていく学年ではなく、部長やその代の先輩達を支える側なので何も言えませんが、少し申し訳なく思います。でするので、半年後先輩達が引退し、私が漕艇部を引っ張っていく側の人間となったときには、50人までとは行かずともこの漕艇部を活性化させ、歴代の先輩方に前を向いて顔をお見せすることができるよう、していきたい

と思います。そしてここ数年果たされていない、五商船大会予選突破並びに優勝、北陸漕艇大会優勝を成し遂げていきたいです。

部員数は少なけれど、全員勝ちたいという思いで必死に練習していますので、応援よろしくお願いたします。また、横浜港のカッターレース大会のお話ですが、私自身とても興味があります。そのようなイベントや大会に出ることによっても活発化させ

ることができるのではないかと考えているので前向きに考えていきたいです。

本当にこの度は、ありがとうございました。とても楽しくて、時間もあっという間に過ぎてしまいました。私も先輩方のような立派な大人になれるよう、これからも勉学部活ともに精進していきたいと思います。

ありがとうございました。またよろしくお願いたします。



ジュニア・ SHIPPINGジャーナリスト 受賞式

肩振りと同窓会

N64 田邊 正彦

ここに改めてジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞にて「日本海事広報協会 会長賞」を受賞された在学生：竹内めぐみさんと中原嶺太郎さんに「おめでとう」と申し上げます。

(後日業界紙にも大きく取り上げられ、また国土交通省、文部科学省後援の全国的な大変栄誉ある賞である事を知り社内でも私事の様に宣伝して回りました)

3月26日前述のお二人の受賞をお祈いすべく同窓会(北斗会関東支部)主催の「祝賀会」に参加する機会を得ましたが、これが卒業以来四十数年で初めての同窓会出席となった(特に不参加を決め込んでいた訳ではなく機会に恵まれなかったからであるが…。)

初めてとは言え諸先輩方には昔お世話になった方や顔見知りの方々もおられつつ「昔話や同窓の方々の近況」に花が咲いてしまうのもこの様な会のお決まりであろう。

乗船中は良く当直の相方である甲板手(Quarter Master)と家族の事、休暇中の過ごし方や愛車の自慢話等他愛もない「肩振り話」で盛り上がっていたものだが、最近は私の周りでも「肩振り」と言う言葉を全く耳にすることが無く「死語」と化してしまった様です。

そういう意味では乗船経験のあるOB諸兄にとっては「同窓会」は昔を懐かしむ「肩振り(親睦)の場」でもあり、これが本来の「同窓会」の趣旨であると個人的には思っております。

とは言え一方では仕事関係、OBの消息、就職相談等の「貴重な情報交換の場」となっている事も確かです。

同窓会組織は「横糸」である各年次卒業生を「縦糸」である先輩・後輩個々の繋がりで紡いだ「織物」と見たてる事が出来るが、西陣織の様な綺麗さを求めるものではなく、あくまでも実用的で強靱な「帆布」に仕上げる為にも「縦糸」を太く、長くすべく常日頃からOB諸兄の方々との繋がりを大切にしなければと改めて感じた機会でした。

今回は短い時間ではありましたが関東地区で活躍されている若い方々にも話を伺う事が出来たので多少は「縦糸」の強化が図れたと思っております。

最後になりましたが今回お声掛け戴きました土屋関東支部長をはじめ裏方としてご準備戴いた事務局の方々に御礼申し上げます。

支部会だより

東北支部

第2回山形県人会開催報告『由良の美味しい魚貝を食べよう』

去る平成27年7月11日(土)に庄内地区の鶴岡市由良町にある、温泉民宿本間義一にて第2回山形県人会を開催いたしました。

由良にての開催は民宿のオーナーが本校出身者と言うことと、夏牡蠣・サザエ・アワビ・地魚が堪能できる事が大きな理由です。

何せ本会員はグルメなので……

今回の参加者は宿泊組7名・宴会参加組4名の計11名で、由良在住の会員が多いので宴会のみ参加者が多数となりました。今回の特色は民宿オーナー本間義彦君のご厚意で全館貸し切り、由良在住の遠藤光春君が当日ご自身で海に出て、先輩のためにとサザエ・アワビを採ってくれ、超豪華な御膳になりました。(写真あり)

また、由良在住の和田廣善君が中心になり、本会の盛会のために知恵を出し合いまとめていただき、本当にチームワーク良く真心がこもった内容となりました。

日本海に沈む夕陽を見ようと、夕食の途中にみんなで海岸に出てみたら、年に一度か二度しか見られない、グリーンフラッシュが見られ全員感動でした。

そんな訳で宴会は大いに盛り上がり、商船出でないとお酒の話が心地よくお酒のメーターが大きく廻ってしまう輩達でした。

宴席では高橋茂さんから、加茂水産高校のカッターを使った、商船OBと水産OBとでカッターレース大会が出来ないかとか、仲川裕也さんからは銘木で山形県人会の看板を作らないかとか……意気高揚な話に盛り上がった今回でした。

最後に會田会長より次回も由良で県人会を行いましょと提案があり、また由良で会うことを誓い散会となりました。

山形県人会事務局 E32 富山 仁

参加者名簿

伊藤 嘉広(N55)・會田 宏(N58)・高橋 茂(N63)・仲川 裕也(N63)
仲川 裕也(N63)・小坂 徳夫(N63)・寒河江芳美(N64)・和田 廣善(N70)
本間 義彦(E36)・遠藤 光春(E37)・菅原 雅直(N74)・齋藤 勝三(E43)



新潟支部

2015年度総会を本部から高崎先生を来賓に迎え、20名で2014年10月17日、新潟駅万

代口前「和個室・信濃川」にて、開催しました。

当日は物故者への黙禱に始まり、初参加N64期岡本幹男氏を肴に、N46期の遠藤峯雄氏から、NE91期の横井未来氏までの幅広い年代で話が弾み、時の過ぎるのを忘れ、約2時間余、会員相互の懇親を深める有意義な時間を過ごしました。

尚、北斗会新潟支部総会に於いて、新支部長にN55期、塚原政和氏を選出、事務局は従来通り、N61期の古川隆が務める事になりました。

又、2015年度の新潟支部の総会は、場所は未決定ですが、日時は2015年10月17日(土曜日)18時30分頃に決まり、事務局が把握している同窓生各位には、9月中旬に御案内を送付する予定です。

「事務局が把握している同窓生」は、卒業時点やその後の私的情報のみであり、この紙面をお借りし、「新潟方面に居

住の同窓生各位」に、2015年度総会は10月17日(土曜日)とお伝えし、是非、事務局 N61期 古川(携帯:080-9531-8959)迄に御一報を頂ける事を、お待ち申し上げます。

事務局 N61 古川 隆記

出席者名簿

姉崎 聖二(E15)・姉崎 誠(N75)・伊藤 則彦(E37)
遠藤 峯雄(N46)・岡本 幹男(N64)・小池 正人(E25)
小坂 徳夫(N63)・小林 善幸(E26)・近藤 栄二(N67)
渋谷政興志(N61)・白勢 信男(E29)・杉山 武吉(E15)
高沢 修(N67)・塚原 政和(N55)・中川 泰彦(E34)
古川 隆(N61)・横井 未来(NE91)・若林二三男(N61)
渡辺 潤彰(NE89)



関西支部

平成27年8月 神戸港カッターレース優勝報告記

昨年9月10日付発行本報にカッター部卒業生の活動として、毎年参加している神戸、横浜港でのカッターレースの様子を寄稿させて頂きましたが、5月10日開催の神戸港において念願の優勝を飾る事ができました。

神戸港のレースでは男子、女子、シニアの3クラスで分かれており、我ら富山商船OBOGチームは「漕手6名の合計年齢が250才以上」のシニアクラスでのエントリーとなりました。

当初男子レースでの参加を続けていたのですが、以前に比べ参加チーム数が各段に増え、それに伴いレースのレベルも上がり、(横浜では現役の高校生も参加) 前稿でお伝えしましたように、なかなか人が集まらなくて必然的にチームの平均年齢も上がり、いつの間にか250才以上の条件も軽くクリアするようになって、こちらのレベルがどんどん下がり、また神戸のレースでは男女混同クラスはシニアレースでしか認められていないため、我が軍で最もパワフルな女性クラス(!)が漕げない等々の理由により数年前よりシニアレースに参加しています。シニアレースでのエントリーチーム数は15チーム。予選はタイムレースで上位3艇が決勝へと進みます。男子レースでは約60チームが参加しますので、それに比べれば簡単のように感じますが、ほぼ全てのチームが経験者であり、小生に至っては加齢には勝てず500mのコースを無事完漕することが難しく

なっている始末。当日も予選、決勝と2レースを漕ぎましたが、その後の数日間は筋肉痛に悩まされたのは言うまでもありません。レースの方は、予選は僅差ではあったものの堂々1位のタイム。決勝戦は前半先行し、終盤に追い上げられるという苦しい展開となりましたが、何とか逃げ切り勝利することができました。

今年に限って申し上げれば、クルーの顔触れにはここ近年変わりはありませんでしたが、学生時代に艇長を務めていた昨年度卒業したばかりのニューフェイスが加わってくれたことが大きな勝因になりました。

校名も変わり卒業生がこのような海に因んだ行事に対して益々集まりにくくなってきています。しかし、歩む道は違って「我ら海の子」、このように1年に1度はみんなで集まって潮をかぶりながら楽しい時間を過ごすことができると思っております。また同時に、これが起点の一つとなり同窓会自体の活動にも波及し、それぞれの繋がりが強くなることを期待しています。

文末になりましたが、私たちのこのような活動に対し、歴代の関西支部長始め同窓会会員諸氏の皆様におかれましては、いつも物心両面に亘りご支援頂きありがとうございます。今後も引き続き神戸、横浜両港で参加してまい

ますので、応援の程、よろしく願い申し上げます。

E 40 岡崎 賀津雄



今年も毎年恒例の神戸港カッターレースに参加しました。私たち「富山商船OBOG」チームは、漕ぎ手6人の合計年齢が250歳以上で構成される、シニアレースでの参戦です。今年は昨年卒業したばかりのとても若い艇長(しかも女性!)が戦力に加わってくれました。昨年の準優勝より上の成績を!とメンバー全員が鼻息を荒くしていた...かどうかは不明ですが、

レースは予選で各1位になったチームのうち、上位3

チームが決勝進出です。初戦は神戸商船大OBと、神戸市立特別支援学校教員のチームが対戦相手。結果は大差で1位に。他の予選レースが終わった結果、富山商船OBOGチームは全チーム中、1位で決勝進出が確定しました。予選1位になったなら、優勝を狙いたい...しかし、卒業後、この神戸港や横浜港でのカッターレースでしかオールを握ることが無いメンバーです。とにかくヤルしかない!乗艇前に、翌日からの仕事に影響が出ないように(ここは現実的に)念



入りにストレッチ等の準備運動と、意味があったのかどうかは定かではありませんが、レースのイメージトレーニングをしていました。予定されていたスケジュールより1時間以上も遅れ、決勝レースがスタート。対戦相手は名港海運と、防衛大学校OBチーム。予選レース時よりも海側からの向かい風が強くなっている様子でした。

レーススタート後は順調。回頭の時点でも1位をキープ。テント席からは「両舷ファイト～!!」「漕げ漕げ～!!」と熱い応援が。ただ、回頭後は疲れが出てきたのか、ゴール時には防衛大学校OBチームに追いつかれた様子。実況アナウンスの最終結果を待つのみ。「ただいまのシニアレース決勝。成績を発表します。」「1着、富山商船OBOGチーム！」やりました～！念願の初優勝！タイムは防衛大学校OBチーム

と約1.5秒の僅差。夕方行われた表彰式では、優勝カップと賞状が授与されました。来年、連覇は簡単ではないと思われれます。

「我こそは連覇への戦力になりたい！」と思った皆さん、そうでなくても「学生時代に戻ってオールを漕いでみたくなった」と思ったあなた！漕艇部OBでなくても構いません。神戸港カッターレースに参加してみませんか？「漕ぐのは絶対無理」とお考えの皆さんは、応援だけでも大歓迎。富山商船OBOGチームへのテントへお越し下さい。懐かしい上級生、下級生に会えるかもしれませんよ。神戸港メリケンパーク内ではフリーマーケットも開催されています。是非ご家族でいらして下さい。お待ちしております。

13 今泉 由起子

石川富船会

6月5日に和倉温泉「美湾荘」にて石川富船会の総会と懇親会が行われました。

今回は本部から同窓会の池田会長も出席され、石川県人だけでなく、富山県から池田会長のほかE13牧野氏やE24石川氏も出席され楽しい会合になりました。

今回の会合で寺村会長からE28多間俊太郎氏に会長が変わることが承認されました。今後とも皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



富山支部

北斗会の皆様こんにちは。私はN63期（高専2期）の永守徹（ながもり とおる）と申します。

昨年の11月に北斗会総会において富山支部長を拝命いたしました。富山支部には多くの理事、卒業生がいらっしゃる中で就任には戸惑いもありましたがお受けしたからには微力ではありますがお力添えさせていただきます。

まず、自己紹介をいたします。

生年月日は昭和27年5月24日生まれ現在63です。卒業後、共栄タンカー(株)に入社し5年間勤務しましたが退職し、現在は富山市内で、貸切バス運行事業、観光旅行事業、損害保険事業を生業とする新富観光サービス(株)という会社を経営しております。

さて、北斗会を取り巻く環境は目まぐるしく変化してお

ります。本年3月には統合された富山高等専門学校の第1期生が卒業しました。それぞれの同窓会がそれぞれを残しつつ、新たに富山高専同窓会を立ち上げ、共通事業・イベントにはその新同窓会が対応し、それぞれ単独の事業・イベントには従来からあるそれぞれの同窓会が対応することになりました。会長も1年毎に北斗会々長、本郷会々長が新同窓会の会長職を兼任することになっています。

また、北斗会には卒業式が年2回開催されていますがこれは従来どおりです。富山市内の会場で本郷、射水キャンパス合同で実施するものと、射水キャンパスで単独に実施するものになっています。この同窓会の件は文章をもって説明するのは難しいので、機会を見て皆様には口頭で説明させていただきます。北斗会が愉快で楽しい同窓会になるよう鋭意努力いたしますので宜しくお願い致します。

末筆になりますが北斗会の皆様のご活躍とご健勝をお祈りいたします。
N63 永守 徹

支部総会のお知らせ

各支部の総会は下記にて開催されます。ご確認の上、多数のご参加をお待ちしております。

北海道支部

7月7日 札幌にて支部総会を実施し、池田会長が出席されました。

東北支部

日時：10月10日(土) 支部総会
場所：KKRホテル仙台

関東支部

日時：10月16日(金) 18:30～
場所：日比谷ダイビルB1「ライン」

関西支部

日時：10月24日(土)
16:00～17:00 理事会
17:00 関西支部総会 引続き懇親会

場所：神戸三宮 「小燕京(しょうえんきん)」
神戸市中央区八幡通4-1-10 サウスビル2F
(JR三ノ宮駅から徒歩約10分)
TEL078-251-4177

新潟支部

日時：10月17日(土) 18:30～ 場所：未定

第80回 商船グリーン会コンペ

平成27年4月23日 高岡カントリー頼成10番ティーグラウンドにて絶好のコンディションの中、初めての参加者もそれぞれ楽しみました。新しい飛ぶクラブの話もスタート前に出たりしてましたが?寿命が一年、延びた様な気分がする爽やかな一日でした。(E30 佐々木 正)



同期会

N55・E22 同期会

深緑の色増す5月末、和倉温泉「美湾荘」(E35竹端君)に山形、新潟、千葉、神奈川、名古屋、大阪、広島、富山、石川から航機同数、都合22名が集合、三年ぶりの同期会を行いました。

卒業してちょうど50年の半世紀。驚く事に同期会初参加者や、卒業以来お互いが初めて会うという面々もいて、あまりの変わり様に「顔」と「名前」が一致するのにかなりの時間を要する場面も。

全員古希を迎えて、容姿/体型の老化は否めないものの、中には今まで医者通いをした記憶が無いという、耳を疑う強者もいたりして。しかし総じてまだまだ「人生楽しむぞ!!!!」という面々多数の集いでした。今後も健康には留意しつつ、次回は2~3年後に、やはり母校近辺(新湊)か北陸新幹線開業でアクセスに便利になった軽井沢辺りかで又会いましょうと言う事で散会。

翌日は能登周遊/金沢観光、久しぶりに新湊の空気を吸いたい、やはり温泉のあとはゴルフだぞと、各自それぞれの行動で和倉温泉をあとにしました。

(N55 田中 良二)



国際流通学科初の同窓会を開催

2015年5月4日「旧富山商船国際流通学科同窓会」を富山第一ホテルにおいて開催致しました。国際流通学科には1996年の設立から現在の国際ビジネス学科になるまで、全14期570名近くの卒業生がいます。これまでクラスやゼミ単位での同窓会は行われてきましたが、先輩後輩が集う学科としての同窓会はありませんでした。そこで、北陸新幹線が開通した今年、卒業生有志により実行委員会を立ち上げ約半年間掛けて企画、準備を進めました。当日は初代学科長の雨宮先生をはじめお世話になった先生方、第1期生から14期生までの計210名が出席し会場のいたるところで思い出話に花が咲きました。

国際流通学科は卒業後の進路が実にさまざまであり、あらゆる業界や分野、また県内外、国内外を問わず幅広いフィールドで卒業生が活躍しています。学生時代の思い出を懐かしむ場としてだけではなく、歴代14期の卒業生が集うことで新たな交流や人脈形成を創る機会にもなりました。この同窓会をきっかけに、未だ数少ない国際流通学科卒業生の交流が更に発展していければと思います。(K10 棚田 祥太)



あかつきの会 (N56期・E23期)

平成26年11月13日、和倉温泉「美湾荘」で担任の数田教官の「米寿」と私達の「古希」の祝いを兼ねて5年振りで開かれました。

当日は、地元の富山石川だけでなく、遠方の青森、仙台、新潟、横浜、神戸などから十七名が参加され、楽しい時間をすごすことができました。(E23 稲崎 成夫)

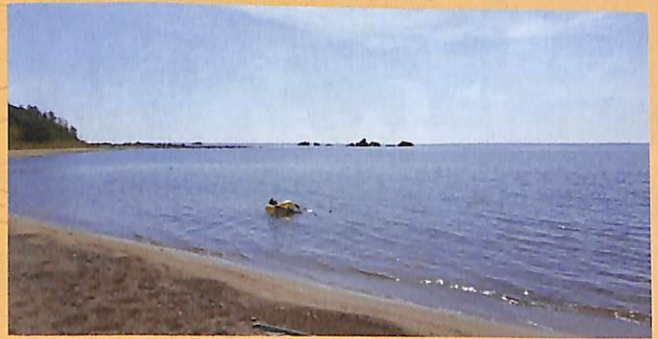


かたふり コーナー

K5 藤田 萌

こんには。2005年に国際流通学科を卒業しました藤田です。お盆に能登半島の田舎にある実家に帰省した際、古い写真の整理をしました。若い祖父や、細くて下の弟にそっくりな父を見て、懐かしくなった祖母が昔話をしてくれました。私の祖父は船乗りで、それに憧れて父も富山商船へ入学した（卒業はしていない模様）ということまでは知っていましたが、曾祖父も船関係の職（学校の教官？）に就いていて、また、祖父には18歳で戦死した兄がいたということを知りました。きっと私が商船へ入学したのも偶然ではなく運命だったのです…（仕事は事務員ですが）。私の両親は共働きだったので、幼いころは定年退職して陸へ戻ってきた祖父や祖母と過ごす時間が多くあり、大変かわいがってもらいました。現在祖父は認知症で施設に入っています。会話は成立しませんが、昔のことはよく覚えていて、スエズ運河がどうの…と、今も船の上で

働いているつもりのようです。几帳面で動きもでハンサムな私の自慢のおじいちゃんでした。11月に結婚することになりましたが、披露宴には招待できないので、私の実家で白無垢を着て家族やご近所のお世話になった方々と一緒に写真を撮ってもらうことにしました。理解してもらえるかどうかわかりませんが、とても楽しみです。15歳から寮生活を始め、金沢で就職してからずっと一人暮らしをしてきた私ですが、これからも家族や生まれ育った故郷を大切に、頑張っていきたいと思います。



平成27年度

総会・懇親会のお知らせ

日時 平成27年11月7日(土)

14:00~16:00 理事会
16:00~17:00 総会
17:00~19:00 懇親会

場所 富山電気ビルレストラン

〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号
TEL:076-432-4111

懇親会費 5,000円(女性3,000円)
(平成27年3月、9月に卒業した会員は無料)

※準備の都合上、出席の有無は10月20日までに同封のはがきでお知らせください。

同窓会事務局へご連絡ください。

同期会の開催などの同窓生近況を事務局へご連絡ください。また、お住まいの地域にて、どの同窓会支部へ連絡したら良いか、支部総会に参加したいが連絡をどこへしたら良いか、など支部や支部活動に関するご相談もお気軽にお問い合わせください。

(連絡先) 〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2 富山高等専門学校内 北斗会(富山商船同窓会)事務局

編集 後記

個人的な感想となりますが、今年度の大きな出来事としてまず思いうかぶのが、臨海実習場が移転し、新しくなったことです。旧実習場は昭和45年竣工ということで35年近く稼働したことによるようです。同窓生皆様におかれましては校内カッターレース大会や、カッター部時代の思い出が詰まっているのではないのでしょうか。もの寂しい感じはいなめないですが、これから、新実習場で多くの素晴らしい出来事が起きることを願って今年度の会報では表紙をかざり、新実習場の紹介記事を掲載しております。

表紙をめくると、2・3ページには見開きで富山高等専門学校同

窓会の紹介ページがあります。新しく会則とともに生まれた組織ですが、これまで通り北斗会とほんごう会は継続して活動しつつ、同窓会として学校行事等を支援していくとのこと。学校と同窓会のより連携した活動が行われるような組織となるのではないのでしょうか。

そして、支部報告や同期会の報告も掲載しております。今回の会報を取り纏める際にも、例年通りたくさん同窓生からの寄稿がありました。日本全国、様々な年代の同窓生がいると思えば大変心強いものでもあります。これからも皆様の近況報告など、写真や原稿を掲載したいと思います。トピックがありましたら事務局までご連絡下さい。(NE13 経田 僚昭)

不審な名簿業者からの 連絡にご注意ください

“富山商船高等専門学校”と記した同窓会名簿の発行案内のハガキが届いた、という連絡がありました。同窓会では個人情報等を配布することはありません。このような悪質な業者からの問い合わせには応じないよう、ご注意ください。

